



UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内
電話 0774-22-3141(内線2057) FAX 20-8776
E-mail BCH04550@nifty.com ホームページ <http://homepage3.nifty.com/uifa/>

第 44 号

平成17年(2005年)8月



平成十六年度の事業報告並びに収支決算報告は、監査結果報告と審議の後、原案どおり承認されました。また、平

宇治市国際親善協会の平成十七年度総会が、五月二十八日に宇治市生涯学習センター第2ホールで開催されました。議事の主な内容は、次のとおりです。

平成十七年度総会を開催 新役員・事業計画・予算を承認

成十七年度の事業計画並びに収支予算案も審議の後、原案どおり承認されました。【十六年度収支決算と十七年度収支予算は三ページに、事業計画の概要は四ページに掲載】

次に、任期満了に伴う役員改選が行われ、平成十七・十八年度の理事三十人と監事二人が承認され、その後理事会で、理事の中から、会長と副会長が選出されました。

新役員の皆さんは、次のとおりです。(敬称略、順不同)

* * *

【会長】

上林 春松(個人)

【副会長】

中川 恵次(個人)

城島 健治(個人)

長束 元和(個人)

菱田 俊子(宇治市日本中国友好協会)

【理事】

関 誠一(宇治商工会議所)

信貴 康孝(宇治青年会議所)

伊藤 義明(宇治市社会福祉協議会)

奥村 進(宇治ロータリークラブ)

藤川 吉蔵(宇治ライオンズクラブ)

曾谷 和子(国際ソロプチミスト宇治)

小川 一三(宇治市体育協会)

井上 陽男(宇治市体育振興会連合会)

太田 竜将(宇治市消防団)

西出美恵子(宇治市女性の会連絡協議会)

大川 優(宇治市観光協会)

宮城 勇(京都やましろ農協)

吉田 利一(宇治市茶生産組合)

古川 宏司(宇治文化少年団)

森 宗樹(宇治市茶通連盟)

西澤 悦子(朋友館運営委員会)

森本 町子(宇治国際交流クラブ)

森本 均(宇治市建設業協会)

北村 彦治(宇治市造園協会)

今村 周子(スリランカ友の会)

山本 哲治(宇治市日本オーストラリア友好協会)

塚本 樹(個人)

今川 博(個人)

伊勢村紀久子(個人)

小永井宏子(個人)

【監事】
平間 永記(京銀宇治支店)

向井 祥夫(個人)

【事務局長】

篠下 龍司(市秘書課主幹)

【名誉会長】

久保田 勇(宇治市長)

【名誉副会長】

高橋 尚男(宇治市議会議長)

【名誉会員】

谷岡 武雄

国際交流講演会

「異文化にみる生活尺度」

五月二十八日に宇治市生涯学習センターで、国際交流講演会を開催。宇治市在住で京都工芸繊維大学名誉教授の柳原昭彦さんにお話しをいただきました。柳原さんは、一昨年の春にスリランカへJICAのシニアボランティアとして赴任され、本市の国際交流にご尽力されました。

スリランカで暮らして

スリランカで暮らしていると時間の観念、金銭的な感覚、日常的な商取引、服装の問題等に日本と大きく異なる生活尺度があることを感じる。今日はその辺のお話をしたい。スリランカはインド大陸の横のなすびの形をした国、首都はコロンボではありません。「どなたかご存知ですか？」スリジャヤワルダナブラ・コッテです。ただ、国会議事堂だけがぼつんと建っており、実質上の首都はコロンボです。私がいたモラトワという町はコロンボから車で40分ほど南へ下がったところにあり、今回の津波でかなり被害を蒙った地域です。直接教えていた学生が一人亡くなり、家を失った学生も数人いた。

時間割がない

モラトワ大学に赴任したのは、一昨年の4月でした。行つてまず驚いたのは時間割がないこと。日本でも大学院のゼミ方式になると時間割はあつてないようなものだが、大学の1年生に入ったら時間割は絶対あります。学部長に「私はいつ授業をすればいいですか？」と尋ねると「まあ、適当に好きなきやつてください。」と言われた。「他の人とバッティングしたらどうしますか？」と言うと、「そこらへんは適当にやつてください。」というのであった。実際に各教官は自分の好きなきにやるのでその時間に来るように学生に伝える。いきあたりばつたり先生もいる。私は建築学部にいたが、学部の校舎のところに



学生がたむろしている。誰かが誰それ先生の講義がどこそこで始まるらしいと言ってくる。あるいは携帯電話で連絡してそれじゃ行こうかということになる。私も授業をするとき学生がいなければそこへ行って「来いよ。」と声をかける。カリキュラムはあるが、時間割がない。教務課という組織も無い。学年担任が一人いるがとても手が回らない。時間割を作ってくれと頼むと「作っても誰も守らないからいらない。」とのことであつた。

た。私は日本の大学から時間割を取り寄せて何とか作らせた。他の先生から授業がやりやすくなったと言われ、JICAの報告書にもこの時間割のことを誇らしげに書いたが、今では少し考えが変わっている。

日本人はせっかち

あるとき、列車に乗ったが、定刻になつても発車しない。聞けば指定席に他の人が座つていたことから喧嘩となり、そのため1時間半遅れで出発した。誰も文句を言わない。当たり前なんです。学生に日本では新幹線が15分遅れたらテレビのニュースになる。それほど正確であると自慢で言う学生が笑つて15分ぐらい遅れてもどうってことないのという反応をする。日本人はよっぽどせっかちなと笑われる。こういう感覚、これを理解するまでに半年かかった。それまでは、腹が立つてしかたなかった。

スリランカの有名な話、イギリスのチャールズ皇太子がスリランカを訪れたとき、コロンボ空港で半日待たされ、大騒ぎとなった。迎えの大統領は馬車で爾々と迎えにでた。スリランカ人はそういった異文化に接して大騒ぎする欧米の人を笑うネタ

としてこの話をする。

時間はゴム

また、インドネシアに「時間はゴム」という言葉がある。伸びちじみすることを知っている。日本では時間が鉄の塊のように決して伸びちじみしない。スリランカでも時間はゴムである。1年7ヶ月して日本に帰ったとき、日本人はなんと時間にうるさいんだと感じた。時間の概念は各国でずいぶん異なる。イギリスはルーズ。ドイツは日本以上にきっちりしている。アメリカはかなりいいかげんである。

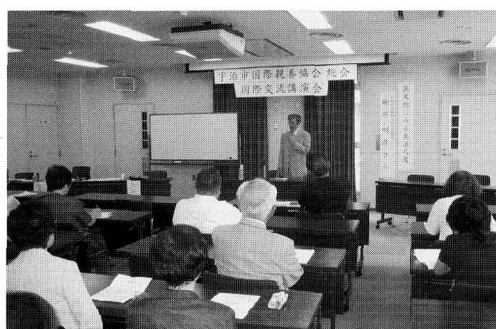
待てば暮らせる

日本には、「待てど暮らせど」という言葉があるが、スリランカには、「待てば暮らせる」という言葉がある。「待てば暮らせる」は考えようによつてはすばらしいと思う。待てばいいじゃない。という考え方。私は、陶磁器デザインを実際に作品を作ることから教えようとしていた。JICAの支援は基本的には人的援助で、物的援助をしていない。講義に必要な資材を整えるため、大学に必要な物資のリストを出すという意図するの返事であつたが、半年間ほったらかしで動く気配がない。仕方な

いのでJICAに要求し現地のメーカーに頼むこととなった。日本では4週間で納品されるような業者が、赴任して1年3ヶ月目にやっと納品された。学生達は納品されて良かったとすごく喜んでいた。

相手の尺度で

今では、待てば暮らせるといふ考え方があから、スリランカは津波の被害からも必ず立ち直れると思う。現地にいる知り合いからも「先生、スリランカの人たちはしぶといですよ。時間はかかるが、鉄道は走るようになります。」との連絡が入っています。空前の景気である。日本人から見るとまどろっこしいが、彼らの尺度で確実に復旧している。日本は何かあるとどこかと援助し、すぐ終わってしまう。相手の尺度に合わせた援助というものがあ



思っていることが相手は違った受け止めをしているかもしれない。相手の価値観を持っていうことではなく、違った価値観をもっていることを理解する。時間割を作らせたことを反省している。日本の価値観を押し付けたのではない。おおかさを失わせてしまったのではない。でも、私が帰った後、時間割はまた、無くなったみたいで安心した。思わぬところで腹がたったりすることがあると思うが、一歩下がって、ひよっとしたら自分は当たり前と思っているが、相手にとっては当たり前じゃないんじゃないか。という風に考えて見てはどうかと思う。

◆◆◆◆◆ 平成16年度 決算 ◆◆◆◆◆

《収入の部》

(単位:円)

項 目	当初予算額	収入済額	差引増減	説 明
1. 会 費	825,000	720,000	-105,000	1. 個人会員 180口 360,000 2. 団体会員 30口 150,000 3. 法人会員 21口 210,000
2. 補助金	3,500,000	1,834,975	-1,665,025	1. 協会事業補助 1,000,000 2. 訪問団派遣事業補助 834,975
3. 負担金	400,000	180,000	-220,000	1. 語学講座参加者負担金 180,000 英語9名 中国語9名
4. 雑 入	88	6	-82	1. 預金利息
5. 繰越金	662,912	662,912	0	1. 前年度繰越金
合 計	5,388,000	3,397,893	-1,990,107	

《支出の部》

(単位:円)

項 目	当初予算額	支出済額	差引増減	説 明
1. 会議費	80,000	13,967	-66,033	1. 総会返信用はがき代 5,000 2. 食糧費 8,967
2. 報償費	30,000	10,000	-20,000	1. 平和の鐘募金 10,000
3. 事務費	150,000	71,492	-78,508	1. 消耗品費 25,042 2. 通信運搬費 16,000 3. 印刷製本費 30,450
4. 事業費	4,700,000	2,634,480	-2,065,520	1. 会報発行(年4回) 231,820 2. 語学講座 336,310 3. 日本語基礎講座 500,000 4. ボランティア養成講座 5,972 5. 提携事業 210,000 6. 友好都市交流事業 834,975 7. 留学生探訪ツアー 202,034 8. 来訪者歓迎 90,464 9. ホームページ管理費 91,500 10. 国際交流講演会 130,720 11. 友好都市紹介写真展 685
5. 積立金	300,000	300,000	0	1. 設立20周年記念事業積立金 300,000
6. 予備費	128,000	0	-128,000	
合 計	5,388,000	3,029,939	-2,358,061	

*収入済額 3,397,893円から支出済額 3,029,939円を差し引いた残額 367,954円は、翌年度に繰り越します。

◆◆◆◆◆ 平成17年度 予算 ◆◆◆◆◆

《収入の部》

(単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	説 明
1. 会 費	825,000	825,000	0	1. 個人会員 2,000×200 400,000 2. 団体会員 5,000×35 175,000 3. 法人会員 10,000×25 250,000
2. 補助金	3,000,000	3,500,000	-500,000	1. 協会事業補助 1,000,000 2. 訪問団派遣事業補助 1,500,000 3. パソコン贈呈事業補助 500,000
3. 負担金	400,000	400,000	0	1. 語学講座参加者負担金 400,000 10,000×40名
4. 雑 入	46	88	-42	1. 預金利息等
5. 繰越金	367,954	662,912	-294,958	1. 前年度繰越金
合 計	4,593,000	5,388,000	-795,000	

《支出の部》

(単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	説 明
1. 会議費	60,000	80,000	-20,000	1. 総会費 60,000
2. 報償費	20,000	30,000	-10,000	1. 謝礼等 20,000
3. 事務費	103,000	150,000	-47,000	1. 消耗品費 30,000 2. 通信運搬費 30,000 3. 印刷製本費 43,000
4. 事業費	4,110,000	4,700,000	-590,000	1. 会報発行(年4回) 250,000 2. 語学講座 400,000 3. 日本語基礎講座 500,000 4. ボランティア養成講座 50,000 5. 提携事業 240,000 6. 友好都市交流 1,500,000 7. 留学生探訪ツアー 220,000 8. 来訪者歓迎 200,000 9. ホームページ管理 100,000 10. 国際交流講演会 100,000 11. 友好都市紹介展 50,000 12. パソコン贈呈 500,000
5. 積立金	200,000	300,000	-100,000	1. 設立20周年記念事業積立金 200,000
6. 予備費	100,000	128,000	-28,000	
合 計	4,593,000	5,388,000	-795,000	

十七年度事業のお知らせ

【啓発・研修事業】

国際交流講演会

会員及び一般の市民の方に国際理解を深めてもらうために開催（第二面・三面に講演記録を掲載）。

親善協会ニュース

年四回発行発行し、会員の皆さんや関係団体にお配りします。国際交流や国際理解などに関する、会員の皆さんの体験談や事業のお知らせなども掲載しますので、気軽に投稿ください。

語学講座

昨年度は、英語と中国語の入門編を実施しました。今年度は、より多くの皆さんにご参加いただき、楽しく外国語を学んでいただける内容を検討中です。

ボランティア養成講座

市民レベルでの国際交流を推進するため、ホストファミリー養成講座などを開催。ホストファミリーをしてみたいとお考えの方は、お問い合わせください。

友好都市紹介展

友好都市を紹介する写真展を開催します。

【交流推進事業】

友好都市への訪問団の派遣

十月に咸陽市へ公式訪問団を派遣します。（左記に募集記事を掲載）

また、宇治ライオンズクラブ・宇治市空手道連盟がカムループスを訪問されます。

その他、宇治市が実施するトンプソン・リバーズ大学への市民留学生派遣（四月に実施済）、宇治市中学生訪問団派遣（八月に実施）にも協力します。

友好都市からの訪問団の来訪歓迎

本年度は、七月にカムループス市、十一月に咸陽市の公式訪



問団が来訪の予定。

【その他の国際交流事業】

中国帰国者日本語基礎講座

中国帰国者を対象に開催。語学力の向上と友好を深めるため、宇治ロータリークラブ・朋友館との共催で実施します。

日本語講座

市内在住の外国人を対象に、宇治国際交流クラブとの共催で実施します。

留学生市内探訪ツアー

市内の外国人留学生に宇治市を紹介し、宇治市への理解を深めてもらうため実施します。

咸陽市への訪問団を募集します

宇治市と宇治市国際親善協会は、咸陽市への公式訪問団の派遣にあたって、訪問団員を募集いたします。

宇治市と咸陽市は昭和61年7月24日に友好都市盟約を結び、経済、教育、スポーツ等の幅広い分野で友好交流を進め、700人を超える市民が咸陽市を訪問しています。

◆日程／平成17年10月13日（日）～10月20日（日）

◆訪問先／咸陽・北京・上海 他

◆応募対象者／宇治市に在住あるいは在勤・在学

◆募集人数／20名

◆参加費用／約18万円

（パスポート取得費や個人的経費は除きます。）

◆応募申込み／8月11日（日）～19日（土）までに事務局（秘書課）へ申し込んで下さい。（電話申込み可）

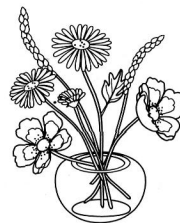
※応募者が多数の場合、過去に公式訪問団員として参加されていない方を優先して、抽選を行う場合があります。

コンピュータ贈呈事業

パソコンが不足しているヌワラエリヤ市の教育施設に、宇治市と協力して中古のパソコンを贈呈します。

国際交流・理解事業

会員の皆さんが実施する国際理解事業を支援するため、協会から補助金を交付します。



感観雑

この度、宇治市国際親善協会事務局長を拝命いたしました、篠下と申します。十二年前に

秘書課に勤務しており、国際交流の事務も少しは行っておりましたが、いざ、担当するとなるとその勝手の違いに戸惑っております。緊張して国際電話を掛けたり、二十年前に英和辞典を開いて英文の翻訳に悪戦苦闘をしております。こんなことなら学生の時にもっとしっかり英語を勉強しておけばと反省をする毎日です。

また、今回の総会でご承認いただいた各種の事業を円滑に実施するためには、会員の皆様方のご協力が何よりも必要であると考えております。そして、宇治市民の方々に出来るだけ多くの国際交流の機会を提供し、市民レベルでの友好の輪がますます広がることを願っております。

不慣れで至らぬ事ばかりと思いますがよろしくお願い申し上げます。（篠下）